

【ソフトウェア使用許諾書】

下記の条項は株式会社アーク情報システム（以下「ARK」といいます）が、「HD革命/Eraser パソコン完全抹消」（コンピュータ・ソフトウェア、マニュアル、その他関連資料を含み、以下「本ソフトウェア」といいます）に適用いたします。

1. 使用許諾

- ①お客様が個人ユーザーの場合、本ソフトウェアはお持ちのコンピュータの台数分で使用することができます。ただし、本ソフトウェアを使用するコンピュータは、同一個人で所有するコンピュータであるものとします。また、抹消するディスクの台数に制限はありません。
- ②お客様が法人ユーザーの場合、本ソフトウェアは1台のコンピュータで使用できます。ただし、抹消するディスクは3台までとします。制限台数を超えるディスクを抹消する場合は、内蔵、外付けを問わずそのディスク台数分の追加ライセンスが必要となります。
- ③お客様は、本ソフトウェアのバックアップを目的に、ただ一つの複製を作成することができます。

2. 使用許諾期間

- ①本契約は、お客様が本契約の内容に同意して本ソフトウェアの使用を開始したときより発効し、お客様が本ソフトウェアの使用を止められるまでを有効とします。
- ②お客様が本契約のいずれかの条項に違反した場合、ARKは本契約を一方的に終了させていただくことがあります。

3. 保証および責任の範囲

- ①CDおよびマニュアルに物理的な欠陥がある場合は、購入後90日以内は無償で交換いたします（バンドル版は除きます）。ただし、お客様は本ソフトウェアの購入日を証明できる写しを添付しなければなりません。それ以外の場合は実費をご負担いただきます。
- ②ARKは、本ソフトウェアの仕様およびサービスの内容を予告なしに変更することがあります。なお、本製品のサポートサービス終了に関しては、Webページにてご案内をいたします。
- ③ARKは、サポートを終了した製品に関しては、サポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
- ④サポートサービスは、ARKの規定に沿って電話、メール、FAXで行いますが、サポートサービスがお客様の目的に適合することを保証するものではありません。
- ⑤ARKは、ユーザー登録がなされない場合や、登録変更の届け出がなされない場合、またはその内容に不備がある場合において、ARKからお客様へ連絡の不達において生じる不利益および損害については、一切の責任を負うものではありません。なお、メール等でご案内する本ソフトウェアに関する情報やサポートサービスの内容に関しては、Webサイトでも同内容のご案内をしておりますので、こちらをもってお客様へのご連絡とさせていただきます。
- ⑥ARKおよびMicrosoft（バンドル版においては本ソフトウェアの提供先も含みます）は、いかなる場合にもお客様が本ソフトウェアを使用した結果に関して一切の責任を負うものではありません。
- ⑦本契約のもとで、本ソフトウェアの品質および性能に関して発生する問題は、お客様の費用負担をもって処理するものとします。
- ⑧本契約のもとで、ARKがお客様に負担する責任の総額は、本ソフトウェアの購入金額を超えないものとします。
- ⑨本ソフトウェアのサービス（主にサポートサービスとなりますがこれに限られません）は日本国内に限定されるものとします。また、日本語で対応することとします。

4. 禁止事項

- ①本ソフトウェアを逆コンパイルまたは逆アセンブル、またはその他の方法でソースコードを解析すること。
- ②本ソフトウェアを譲渡、転貸、再販売、輸出すること。
- ③ARKへの文書による事前の承諾なしに、本ソフトウェアの二次著作物を創作、譲渡、販売、転貸すること。
- ④ARKへの事前の承諾なしに、本ソフトウェアを引用し書籍を刊行すること。
- ⑤ネットワークにおいて、本ソフトウェアを私的使用を超える範囲で利用すること。

5. その他

- ①お客様およびARKは、本契約に関連して発生した紛争については、東京地方裁判所を第一審の管轄裁判所とするものとします。
- ②本ソフトウェアの一部機能はWindows PEを使用しており、Windows PEはMicrosoft社およびMicrosoft関連会社のライセンスとなります。
- ③Windows PEについて、Microsoft社およびMicrosoft関連会社でのサポートは行いません。
- ④Windows PEは、起動から72時間後に再起動します。

著作権

- ・HD革命/Eraser パソコン完全抹消の著作権は株式会社アーク情報システムが有しています。
- ・HD革命は株式会社アーク情報システムの登録商標です。

目 次

第 1 章 HD 革命/Eraser パソコン完全抹消 の使用開始にあたって	・ ご利用いただける動作環境（システム要件） 1-2 ・ インストール 1-4 ・ CD でコンピューターを起動 1-5 ・ 注意事項・制限事項 1-6
第 2 章 Windows を起動して 抹消	・ 抹消方法について 2-2 ・ 抹消方式について 2-3 ・ ハードディスク全体、メディアを抹消 2-6 ・ パーティションを選択して抹消 2-8 ・ 起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消 2-10
第 3 章 CD で起動して抹消	・ BIOS 版で抹消 3-2 ・ Windows PE 版で抹消 3-5
第 4 章 便利ツール	・ Windows PE 起動用ディスクの作成 4-2 ・ 起動用フロッピーディスクの作成 4-5 ・ CD/DVD/BD メディアの消去 4-7 ・ 抹消ログの取得 4-8 ・ ネットワークドライブの割り当て（CD から起動した場合） 4-9 ・ ドライブ情報の取得 4-10 ・ コンピューター情報の取得 4-11 ・ パスワードの設定 4-13 ・ アップデータの確認 4-14
第 5 章 参考資料	・ ディスクの初期化とパーティションの作成 （Windows 8.1/8/7/Vista） 5-2 ・ ディスクの初期化とパーティションの作成 （Windows XP） 5-4 ・ USB メモリーのフォーマット 5-7
付 録	・ 用語の解説 付-2 ・ ユーザーサポートのご利用にあたって 付-6 ・ ユーザーサポート申込書 付-7

第 1 章

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消 の使用開始にあたって

(動作環境・インストール・注意事項 / 制限事項)



ここでは、HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消 の動作環境、インストール方法、HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消 をご利用いただくにあたってあらかじめお読みいただきたい注意事項や制限事項について説明しています。

ご利用いただける動作環境（システム要件）

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消（本マニュアルでは以降「HD 革命 /Eraser」といいます）をご利用いただくためには、次のコンピューターハードウェアおよびオペレーティングシステムが必要です。

インストールして使用する場合

オペレーティングシステム (いずれも日本語版)	Windows 8.1 32bit/64bit 版 (Windows 8.1 Update を含む) Windows 8 32bit/64bit 版 Windows 7 32bit/64bit 版 (SP1 以降) Windows Vista 32bit 版 (SP2 以降) Windows XP 32bit 版 (SP3 以降) ※Windows Vista/XP 64bit 版には対応していません。 ※ サーバー系の OS には対応していません。 ※ アドミニストレータ権限（管理者権限）が必要です。 ※Windows RT/RT 8.1 には対応していません。
コンピューター	上記のオペレーティングシステムが稼働するコンピューター (PC/AT 互換機のみ) ※Macintosh (Mac) には対応していません。
メモリー	Windows 8.1/8/7 64bit 版：2GB 以上 Windows 8.1/8/7 32bit 版：1GB 以上 Windows Vista 32bit 版：512MB 以上 (1GB 以上推奨) Windows XP 32bit 版：512MB 以上
CD/DVD ドライブ	CD-ROM を読み込めるドライブ ※Windows PE 起動用ディスクの作成をするには、CD/DVD の書き込みに対応したドライブが必要です。
ハードディスク	50MB 以上の空き容量（本製品のインストール用として）
その他	インターネット接続環境 ※Windows PE 起動用ディスクの作成やアップデータのダウンロードで使います。この機能を使用しない場合は不要。 起動用 USB メモリーを作成する場合、1GB 以上の USB メモリーが必要 ※ 起動用 USB メモリーを作成するには、Windows 8.1/8/7/Vista で CD ドライブが搭載されたコンピューターが必要です。

CD（起動用USBメモリー）から起動して使用する場合

CDから起動してBIOS版またはWindows PE版のHD革命/Eraserをご使用いただくためには、次のコンピューターハードウェアが必要です。

オペレーティングシステム	CDからコンピューターを起動するため、インストールされているオペレーティングシステムに依存せずに本製品を使用できます。
コンピューター	インストールして使用する場合と同様 ※CDからコンピューターを起動するためには、コンピューターの設定が必要となる場合があります。
メモリー	BIOS 版：4 MB 以上 Windows PE 版：512MB 以上（ビデオメモリーと兼用の場合は1GB 以上）
ドライブ	CD-ROM が読み込めるドライブ
その他	・ 起動用 USBメモリーで起動する場合、USB から起動できる環境が必要。 ・ ハードディスクを認識するためのドライバ。 ※RAID、SCSI 環境で Windows PE 版を使用する際、ハードディスクが認識されなかった場合に必要です。



-
- Windows PE は起動してから 72 時間後に自動的に再起動します。72 時間を超えてファイルを復元することはできません。
-



起動デバイスの優先順位について

最近のコンピューターの多くは CD や USB デバイス中の OS も起動可能ですが、多くの場合、初期状態ではハードディスクからの起動設定になっており、そのままでは起動できないことがあります。CD や USB デバイスから OS を起動するためには下に示した例のように、起動時にファンクションキーを押してメニューを呼び出しデバイスの選択、BIOS と呼ばれる設定画面での設定変更などが必要です。ただし、起動するデバイスの変更方法はメーカーや機種に依存してさまざまであるため、その具体的な方法は弊社ではお答えすることはできません。コンピューター付属のマニュアルやヘルプを参照するか、ハードウェアメーカーにお問い合わせください。

《起動デバイスの設定例》

● SONY VAIO SVT13119

- ①電源が切れている状態で「ASSIST」ボタンを押す。
- ②表示されたメニューの中で「USB メモリーやディスクから起動」を選択する。

● Lenovo G580

- ①電源を入れた後に BIOS が表示されるまで「F12」キーを何度も押す。
- ②リストの中から、起動するデバイスを選択する。

● NEC VALUESTAR VW770/J

- ①電源を入れた後に BIOS が表示されるまで「F2」キーを何度も押す。
- ② BIOS のメニューで「BOOT」を選択する。
- ③「1st Boot」で「Enter」キーを押し、「CD/DVD」を選択する。
- ④「Exit」→「Save changes and Reset」を選択する。

インストール

旧バージョンのHD 革命 /Eraser をインストールされている場合は、アンインストールしてからインストールを始めてください。

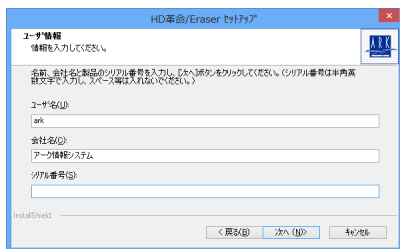
1 インストール開始

「インストール開始」をクリックします。



2 シリアル番号の入力

シリアル番号を入力します。



- ⚠
- シリアル番号は、半角英字の大文字と半角数字で入力してください。ハイフン(-) も必要です。(例) ABCD - E12 - FGH345JK67
 - 受け付けられないときは、全角文字や小文字になっていないかどうかを確認してください。

3 再起動

インストール後はコンピューターを再起動します。アンインストールは、Windows の「コントロール パネル」の「プログラムのアンインストール」または「プログラムの追加と削除 (アプリケーションの追加と削除)」から行います。



Ark ランチャーについて

インストール後、デスクトップに「Ark ランチャー」のアイコンが作成されます。Arkランチャーから HD革命 /Eraserのメイン画面や各種ツールを起動することができます。



「パソコン完全抹消」単体製品のセットアップ画面

ファイル抹消機能が同梱されていないHD革命 /Eraser製品は、セットアップ画面で下の画面が表示されます。「インストール開始」をクリックして HD革命 /Eraser パソコン完全抹消をインストールしてください。



CD でコンピューターを起動

HD 革命 /Eraser の製品 CD には、BIOS 版の抹消機能が収録されています。また、あらかじめ作成した Windows PE 起動用ディスク (4-2 ページ) を使用することで、インストールして使用する場合と同様の機能を持つ Windows PE 版で抹消を行うことができます。

1 CD でコンピューターを起動

CD をドライブに挿入した状態でコンピューターを起動します。



- CD から起動できないときは、起動デバイスの設定を CD が優先するように変更する必要があります (1-3 ページのコラム「起動デバイスの優先順位について」参照)。

2 HD 革命 /Eraser の起動

● BIOS 版 (3-2 ページ参照)

製品 CD を使用した場合は、BIOS 版の HD 革命 /Eraser が起動します。



Point

BIOS 版は、メモリーが少ない古いコンピューターで Windows PE が起動できない場合に使用します。

Windows PE 版のディスクを作成して起動できるコンピューターであれば、通常は Windows PE 版を使用して抹消を行ってください。

● Windows PE 版 (3-5 ページ参照)

Windows PE 起動用ディスクを使用する場合は、次のメッセージが表示されている間にキーボードで何かキーを押します。

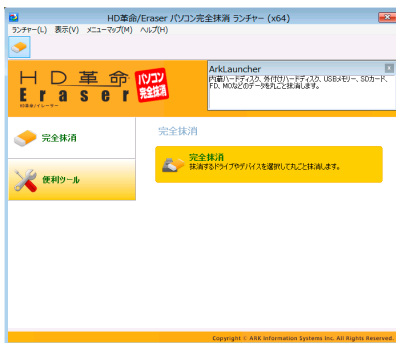
Press any key to boot from CD or DVD...

Point

何もキーを押さないときは CD からの起動がキャンセルされ、ハードディスクから起動します。

Ark ランチャーが起動しますので、操作を選択します。操作手順は Windows 上の操作と同様ですので、各機能のページを参照してください。

ドライバのインストールについては、3-5 ページのコラムを参照してください。



注意事項・制限事項

リカバリー領域に関して

・リカバリーデータ領域の抹消について

ハードディスク上に作成されているリカバリーデータが保存されている領域（以降リカバリー領域といいます）を抹消するとメーカー出荷時の状態に戻すことができなくなります。コンピュータによっては、隠しドライブになっていないものもありますので、リカバリーデータが保存されている領域を抹消前に確認してください。また、リカバリー領域を削除するとメーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。リカバリーに関しては、コンピュータのマニュアルなどをご覧ください。

なお、BIOS により保護されている HPA (Hidden Protected Area) のリカバリー領域を抹消することはできません。

・リカバリー領域を残して抹消する機能について

一部のメーカー製のコンピュータ（工人舎など）は、システムドライブ（通常は C ドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれていますので、C ドライブを抹消してしまうとリカバリー領域が残っていてもリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。

インストールして抹消、または Windows PE を起動して抹消する場合

・抹消できるデバイスについて

抹消できるデバイスは、ハードディスク、リムーバブルディスク（例：USB メモリー、MO、SDHC メディアカード）、FD などの Windows 上で認識されているほとんどのドラ

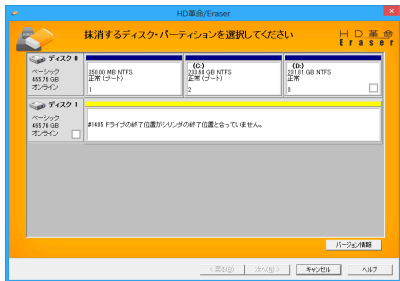
イブ、メディアを抹消することができます。ただし、一部例外のデバイス（例：テープメディア）もあります。ネットワークドライブの抹消はできません。

・マルチカードリーダー／ライターについて

マルチカードリーダー／ライターを使用する場合、一部のドライブ（スロット）が認識できない場合があります。

・エラーがあるハードディスクについて

抹消を行うハードディスクにエラーがある場合、ディスク、パーティションの選択画面でディスク全体が黄色で表示されます。このように黄色で表示されている場合、ディスク全体を選択して抹消することはできませんが、パーティション単位の抹消はできません。



・ディスクの保護について

BIOS やソフトウェア、ハードディスクやメディアへのアクセスが保護（ライトプロテクト）されているときは抹消できません。保護（ライトプロテクト）を解除してから抹消を行ってください。

また、SDHC メディアや FD のようにロックスイッチがある場合、ロックを解除してください。

・マルチブート環境における抹消について

マルチブート環境では、OS のシステムファイル (boot.ini など) があるパーティションと起動しているパーティションが異なります。インストールして抹消する場合は、「システム」「ブート」「システム or ブート」と表示されているディスク、パーティションは抹消できません。Windows PE を起動して抹消を行う場合は可能です。

・ダイナミックディスクの抹消について

ダイナミックディスクはディスク全体の抹消となります。パーティションを選択して抹消はできません。また、リカバリー領域を残して抹消する機能は使用できません。

2 台以上のハードディスクで「スパンボリューム」や「ストライプ ボリューム」のソフトウェア RAID を構築している場合、1 台のハードディスクを抹消すると、組み合わせとなっている他のハードディスクのボリュームが使用できなくなります。Windows の「ディスクの管理」では「失敗」と表示されますので、「失敗」と表示されているボリュームを削除してください。

・仮想ハードディスクの抹消について

Windows 8.1/8/7 の仮想ハードディスクドライブ (VHD) の抹消は動作保証外となります。

・Windows 8.1/8 の「記憶域」で作成したディスクについて

Windows 8.1/8 の「記憶域」で作成したディスクを抹消は動作保証外となります。

・選択できるデバイス、パーティションの数について

複数のデバイス、またはパーティションを選択して抹消を行う場合、デバイス単位では最大 10 台、パーティション単位では最大 50 個まで選択できます。ただし、複数のデバイス、パ

ーティションを選択して抹消する場合、選択する個数が多くなるほど時間がかかります。環境によっては 1 つずつ選択したほうが短時間で抹消できる場合がありますのでご注意ください。

Windows PE 版について

・ドライブ文字について

Windows PE 版は、ハードディスクを認識する順番やドライブ文字が Windows 上とは異なる場合があります。

また、MBR ディスクにインストールされた Windows 8.1/8/7 の「システムで予約済み」パーティションは「C ドライブ」として認識されますので、Windows がインストールされているドライブは、別のドライブ文字として割り当てられます。抹消するドライブ、パーティションの選択時は注意してください。

・システムドライブの抹消について

Windows PE 版では、Windows のインストールドライブや、「システムで予約済み」領域のような起動用として使用されているシステムドライブを抹消することができます。

・起動時間の制限について

Windows PE 版は起動から 72 時間後に自動的に再起動します。抹消中でも再起動されてしまいますので、起動時間に注意してください。

BIOS 版について

・抹消できるデバイスについて

BIOS 版で抹消できるデバイスは、コンピューターの BIOS でサイズが正常に認識できるハードディスク、リムーバブルディスクとなります。Windows 上で認識できているデバイスでも、BIOS 版では認識できない場合やサイズが正常に表示されない場合があります。

・2TB を超えるハードディスクの抹消について

BIOS 版の抹消では、2TB を超えるハードディスクはサイズが正しく認識できないため抹消できません。

・4K セクターハードディスクの抹消について

BIOS 版の抹消では、512 バイトエミュレーションを行っていない 4K セクター（4K ネイティブ）フォーマットのハードディスクを抹消することはできません。

・USB キーボードを使用している場合の注意事項

USB キーボードを使用している場合は、設定を変更しないと BIOS 版の選択画面でキーの入力ができないことがあります。入力できない場合は、コンピュータの BIOS で USB キーボードが使用できるように設定を変更してください。USB キーボードに関する項目は、BIOS で以下のような名前が表示されます。設定を変更しても USB キーボードで入力できない場合、PS2 接続のキーボードが使用可能であれば、そちらを使用してください。

- ・ USB キーボードに関する項目の例：
 - 「USB Legacy Device Support」
 - 「USB Legacy Support」
 - 「Legacy USB Support」
 - 「USB Keyboard Support」
 - 「USB レガシー サポート 機能」

抹消実行中の注意

・抹消時間について

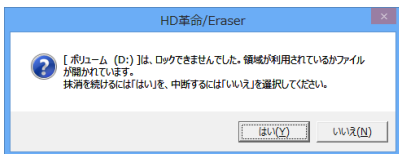
抹消時間はお使いの環境（BIOS、OS、チップセット、書き込み速度、ディスクサイズなど）や選択した抹消方式によって異なります。

・ディスクがロックできない場合の抹消について

抹消するディスク、パーティションが開かれている場合や、ファイルが使用中の場合は、デ

ィスクをロックできないため次のようなメッセージが表示されます。

ディスクがロックできない場合、抹消中もそのディスク、パーティションにアクセスできませんが、完全に抹消することができなくなるので抹消中はアクセスしないようにしてください。



・抹消中のディスクアクセスについて

抹消中のディスク、メディアにはアクセスしないでください。また、故障の原因となりますので、抹消中のディスク、メディアの取り外しは行わないでください。

・抹消中の書き込みエラーについて

抹消中のディスク、メディアにおいて、一部のセクターが物理的に破損しているような場合は抹消時にデータが書き込めずエラーとなります。書き込みエラーが発生した場合は、進行状況の欄に「エラー発生」と表示され、抹消終了後のログには、エラーの内容が表示されます。



・抹消が途中で停止してしまう場合の確認事項

環境によっては、抹消が途中で停止してしまうことがあります。このような場合は、以下の

点を確認してもう一度抹消を行ってください。
なお、抹消回数を多く設定した場合も発生することがありますので、回数を少なくして抹消してください。

- ・ BIOS が最新のバージョンになっているか。
- ・ BIOS でハードディスクのサイズが正しく認識されているか。
- ・ ケーブルが断線していないか。
- ・ ドライバが正しくインストールされているか。
- ・ ハードディスクの冷却が十分に行われているか。
- ・ コンピューターや起動中の Windows が不安定な状態になっていないか。

・ 抹消後のフォーマットについて

ディスク、メディアを抹消する時に、抹消後にディスクをフォーマットすることができます。フォーマットする際にコマンドプロンプト画面が開きますが、フォーマットが完了すると自動的に画面が閉じます。この機能は、Windows XP では選択できません。

なお、抹消後にフォーマットを行う機能は、抹消時にドライブ文字がついているドライブのみフォーマットを行うことができます。ドライブ文字がついていない「システムで予約済み」領域や、「未割り当て」領域は選択してもフォーマットを行うことができません。また、フロッピーディスクなど、Windows の「ディスクの管理」に表示されないドライブは、抹消後にフォーマットすることはできません。

第2章

Windows を起動して抹消



ここでは、Windowsが起動した状態でハードディスク単位、またはドライブ単位、ファイル単位にデータを抹消する方法について説明しています。

抹消方法について

HD革命/Eraserには、Windowsが起動した状態からハードディスクを抹消する方法と、CDから起動して抹消する方法があり、さらにいくつかの操作方法に分かれています。

ここでは、目的ごとに参照していただく本マニュアルの該当ページを示します。

インストールして抹消

・ハードディスク全体、メディアを抹消

⇒2-6ページ

ハードディスク単位で完全抹消を行う方法です。外付けのハードディスク、起動中のWindowsを含まない内蔵ハードディスクで、ハードディスク全体を一度に抹消するときにはこの機能を使用してください。

・選択したパーティションを抹消

⇒2-8ページ

ハードディスクのパーティションを選んで完全抹消する方法です。

特定のパーティション（起動中のWindowsを含まない）だけを完全に抹消したいときに、この機能を使用してください。

・起動中のWindowsごとハードディスクを完全抹消

⇒2-10ページ

Windowsが起動している状態で、現在起動中のWindowsを含む内蔵ハードディスクを完全抹消する方法です。抹消設定後、コンピューターが再起動して抹消が実行されます。

CDから起動して抹消

CDでコンピューターを起動し、ディスクやメディアを抹消する方法です。ただし、コンピューターがCDからの起動に対応している必要がありますので、古いコンピューターでは起動できない場合があります。この方法はインストールされているOSの種類に依存しないため、

Windows以外のOS使用時やOS自体が起動しない場合でも利用できます。また、システムドライブもそのまま抹消できます。

・BIOS版で抹消（旧バージョンの抹消方式）

⇒3-2ページ

必要メモリーが少ないため、古いコンピューターでも使用できます。後述のWindows PE版を起動できない場合はBIOS版を起動して抹消してください。なお、BIOS版はパーティションを選択して抹消はできません。

・Windows PE版で抹消

⇒3-5ページ

Windowsにインストールした場合と同じ画面で操作できます。Windowsがインストールされたパーティションも抹消できます。

起動用USBメモリー、FDの作成

⇒4-3、4-5ページ

CDが搭載されていないコンピューターやCDから起動できないコンピューターは、起動用のUSBメモリーまたはFDを作成して抹消を行うことができます。なお、起動用USBメモリーではWindows PE版の機能が使用でき、起動用FDはBIOS版の機能のみとなります。

抹消方式について

HD 革命/Eraser では次の抹消方式を用意しており、その中から選択してハードディスクのデータの完全抹消を行うことができます。

MBR の抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：最低

ハードディスクの先頭にある MBR（マスターブートレコード）のみ抹消します。

パーティションは削除されますが、ディスク全体を抹消する方式ではないので、データは完全には抹消されません。



MBR の抹消について

MBRとは Master Boot Record（マスターブートレコード）の略で、ハードディスクの先頭にあるセクタのことをいいます。

MBRにはパーティションの大きさやOSが起動するための情報が記録されているため、ここを抹消するだけで、あたかもディスクが抹消されたように見えます。

先頭部分しか抹消しないためすぐに抹消が終了しますが、データを完全に抹消する方式ではないため、データの復元ができてしまいます。完全に抹消をしたい場合は他の抹消方式を選択してください。

「MBR の抹消」では、この部分のみを抹消します。



「MBR の抹消」を行うとパーティションは見えなくなりますが、この部分のデータはそのまま残っています。

0（ゼロ）で抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：低

各クラスタに 0（ゼロ）を書き込みます。抹消レベルは低くなりますが、抹消時間は最も早くなります。

ソフトウェアによるデータの復旧はできませんが、残留磁気を読み取る装置では復旧できる可能性があります。

乱数値で抹消

書き込み回数：1 回、抹消レベル：低

各クラスタに乱数を書き込みます。「0（ゼロ）で抹消」より少し抹消レベルが高く、比較的短時間で抹消することができます。

ソフトウェアによるデータの復旧はできないので重要機密情報を扱う場合以外はお勧めです。残留磁気を読み取る装置では、復旧できる可能性があります。



抹消時間について

抹消時間は、お使いの環境（BIOS、OS、チップセット、書き込み速度、ディスクサイズなど）や選択した抹消方式によって異なります。数分で終わる場合もあれば、数時間から数十時間かかることもあります。

NCSC方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

NCSC（米国コンピュータセキュリティセンター）で定められた方式です。最初に各クラスタに固定値1（0x00）を書き込み、次にその補数（0xFF）で上書きし、最後に固定値2（0x77）で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性は低くなります。

米国陸軍方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国陸軍で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに乱数を書き込み、次に固定値（0xFF）で上書きし、最後にその補数（0x00）で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低くなります。

米国海軍方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国海軍で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに固定値（0x88）を書き込み、次にその補数（0x77）で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低くなります。

米国防総省方式

書き込み回数：3回、抹消レベル：中

米国防総省（ペンタゴン）で定められた抹消方式です。最初に各クラスタに固定値（0xFF）を書き込み、次にその補数（0x00）で上書きし、最後に乱数で上書きした後に書き込み検証を行います。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性も低くなります。



抹消方式と残留磁気

HD革命/Eraserでは、特定の方式でハードディスクに値を書き込むことで、データを復旧不可能な状態にします。抹消レベルが高い抹消方式ほどデータの復旧が困難になります。しかし、ハードディスクは磁気によりデータが記録されていますので、抹消を行ってもハードディスク上にはごく僅かな磁気は残ってしまいます。この磁気のことを残留磁気といいますが、残留磁気を読み込んでデータを復旧する特殊な装置は一般には手に入りません。また、例え特殊な装置を手に入れたとしても、レベルが高い抹消方式であれば、データの復旧はほぼ不可能です。

抹消方式はいくつか用意されていますが、通常、0（ゼロ）や乱数で1回抹消を行えば、データ復旧ソフトでの復旧はできませんので十分といえます。

NATO方式

書き込み回数：7回、抹消レベル：高

NATO（北大西洋条約機構）で定められた抹消方式です。固定値1（0x00）→固定値2（0xFF）→固定値1（0x00）→固定値2（0xFF）→固定値1（0x00）→固定値2（0xFF）→乱数値で上書きします。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性はかなり低くなります。

Gutmann方式

書き込み回数：35回、抹消レベル：高

コンピューター科学者グートマン（Peter Gutmann）博士によって提唱された抹消方式です。乱数値で4回 → 固定値（0x55や0xAAなど）で27回 → 乱数で4回上書きします。最も安全な消去方式ですが、書き込み回数が計35回と多いため、非常に時間がかかります。

ソフトウェアによるデータの復旧はできません。残留磁気を読み取る装置での復旧の可能性はかなり低くなります。



ハードディスクが認識されない場合

HD 革命 / Eraser で抹消を行うには、ハードディスクが認識され、正常に動作していなければなりません。接続しても認識されず、動作しないハードディスクは抹消できません。



- ハードディスクやメディアを抹消すると、元に
- 復元できませんのでディスク、パーティション
- の選択を間違えないようにしてください。
- 安全のために、抹消するハードディスク以外は
- 接続を外すか電源を切るようにしてください。

ハードディスク全体、メディアを抹消

ハードディスク全体またはUSBメモリー等のメディアを抹消する手順です。

1 「選んで完全抹消」の選択

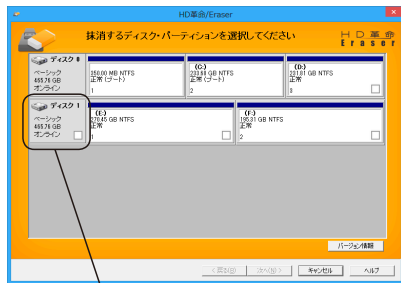
Arkランチャーで「選んで完全抹消」を選択します。



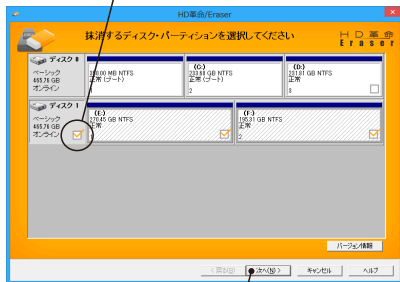
- 外付けのハードディスクを抹消する場合は、接続して電源を入れておいてください。

2 ハードディスク、メディアの選択

抹消するハードディスク、メディアを選択します。



③チェックマークがついたことを確認



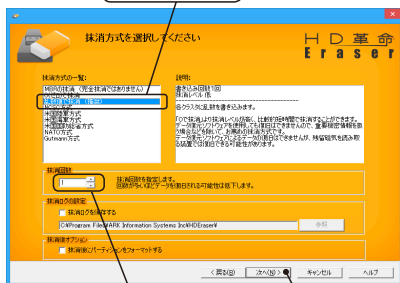
④クリック

3 抹消方式の選択

抹消方式と実行回数を選択します。
抹消ログを保存する場合は、ここで保存場所を選択します。

また、ここでは抹消したディスク、メディアをフォーマットするかどうかを指定できますが、Windows XPでは選択できません。

⑥抹消方式を選択



⑦実行する回数を選択 (1 ~ 10 回)

⑦クリック

4 抹消実行の確認・開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



パーティションを選択して抹消

パーティション単位で抹消する手順です。

1 「選んで完全抹消」を選択

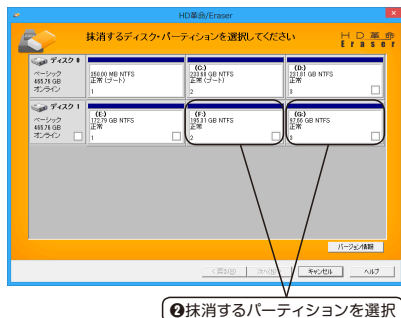
Arkランチャーで「選んで完全抹消」を選択します。



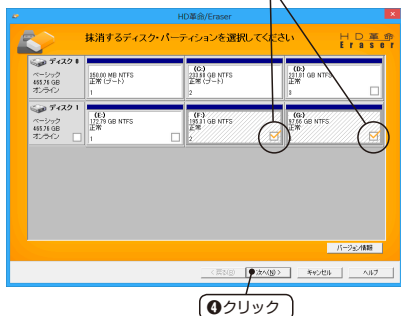
- 外付けのハードディスクを抹消する場合は、接続して電源を入れておいてください。

2 パーティションの選択

抹消するパーティションを選択します。



③チェックマークがついたことを確認



④クリック

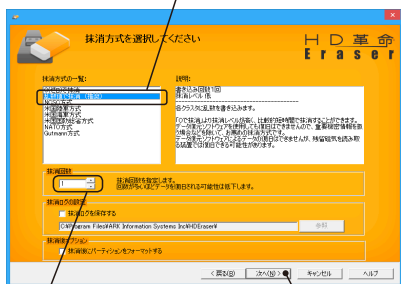
3 抹消方式の選択

抹消方式と実行回数を選択します。

抹消ログを保存する場合はここで保存場所を選択します。

また、ここでは抹消したパーティションをフォーマットするかどうかを指定できますが、Windows XPでは選択できません。

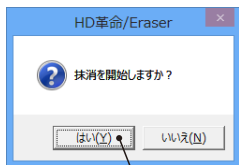
⑥抹消方式を選択



⑦実行する回数を選択 (1 ～ 10 回)

⑦クリック

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



①開始するときにクリック



- 抹消を開始するとパーティションの状態を元に戻すことができません。
- 間違いがないか、よく確認してから開始してください。

抹消中は下の画面が表示されます。



- 「キャンセル」をクリックすると抹消を中断できますが、パーティションを元の状態に戻すことはできません。

抹消が終了するとログが表示されます。「完了」をクリックするとHD革命/Eraserが終了します。



①クリック



隠し領域と未割り当て領域の抹消について

HD 革命 /Eraser は、隠し領域やパーティションが未割り当ての領域も選択して抹消できます。ただし、メーカー製のコンピューターは、この領域をリカバリー領域や起動情報の保存先として利用していることがありますので、隠し領域が先頭にある場合など一部抹消できないパーティションがあります。コンピューターの購入時（メーカー出荷時）から存在していた隠し領域や未割り当ての領域は、抹消しないことを推奨します。

Point

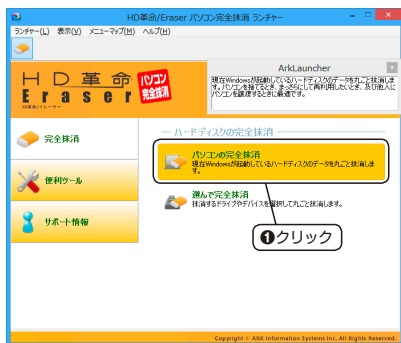
「抹消後にパーティションをフォーマットする」オプションを選択した場合は、抹消完了後にコマンドプロンプト画面が表示され、フォーマットが行われます。

起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消

起動中のWindowsごとハードディスクを完全抹消する手順です（CDから起動して抹消する場合、この機能はありません）。Windowsがインストールされているパーティション自体が抹消されてしまうため、この操作を行うとWindowsが起動できなくなりますので注意が必要です。

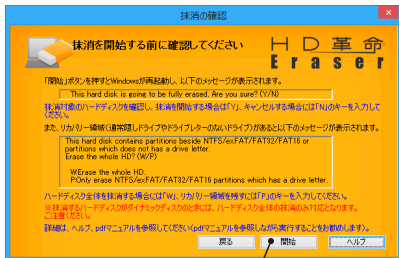
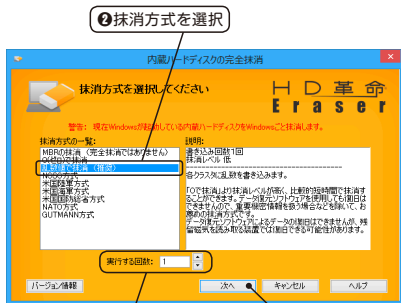
1 「パソコンの完全抹消」を選択

Arkランチャーで「パソコンの完全抹消」を選択します。



2 抹消方式の選択

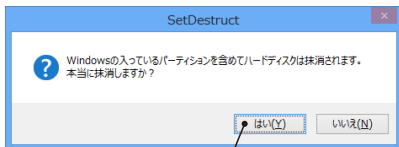
抹消方式と実行回数を選択します。



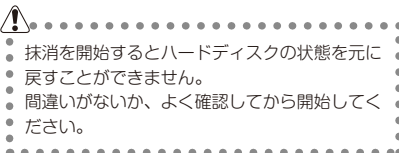
⑤ クリック

3 確認・開始

抹消を本当に開始するかどうかを確認し、開始します。



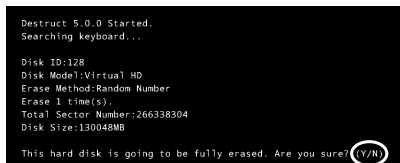
⑥開始するときにクリック



この後、Windowsが自動的に再起動し、抹消の処理が行われます。

4 Windowsの再起動・抹消の実行

Windowsが再起動し、次の画面が表示されます。ここで、キーボードの「Y」キーを押します。

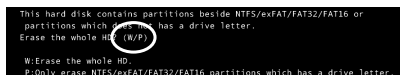


⑦ キーボードの「Y」キーを押す

5 リカバリー領域の抹消設定

抹消するハードディスクにリカバリー領域（次ページのコラム参照）がある場合は、この領域を抹消するかを選択します。リカバリー領域も含めてハードディスク全体を抹消する場合は「W」キーを、リカバリー領域を残す場合は「P」キーを押します。

なお、Windows 8.1/8/7で「システムで予約済み」領域がある場合にも選択メッセージが表示されます。



⑧ 「W」または「P」キーを押す



.....
● リカバリー領域を削除するとメーカー出荷時の状態に戻すことができなくなります。メーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。また、メーカーによっては、システムドライブ（通常はCドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれているので、Cドライブを抹消してしまうとリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。
.....

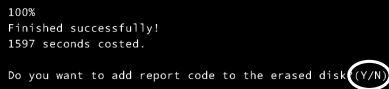
6 抹消の進行と終了

抹消が終わると、ログを保存するかどうかが選択するメッセージが表示されます。

Time1 : HD is being deleted by random number.
5%

Point

ログはディスク全体を抹消した場合にのみ、ディスクに保存することができます。



⑨ ログを保存するときは「Y」、保存しないときは「N」キーを押す

7 抹消結果の表示

ログを保存した場合、コンピューターを再起動すると下の画面が表示されます。

```
HD Kakunei / Eraser V5.0.0
Destruct 5.0.0
HD Model      : Virtual HD
Disk Size (MB): 130048
Total Sector  : 0xFE00000
Erase Method   : Random
Target        : Whole 1 disk
Write Times    : 1
Start Date/Time : 04/21/2014 13:58
End Date/Time  : 04/21/2014 14:25
Disk Number    :
MAC-1 Number   : 00-15-5D-0B-3D-00
Error          : 0
Disk Snap Shot :
Sector (0x00000003)
D4 9B 02 2B 74 A9 4A F1 B5 CA 13 FB 04 CC EB 43
D6 DE 62 DE E6 2B 2C 17 04 01 35 35 07 E2 78 2A
Sector (0x07F00000)
D4 44 2C B8 E4 55 34 C1 F5 66 3D CB 04 78 45 D3
16 8A 4C DE 26 99 56 E7 34 AD 5F 5F 47 BE 64 FA
Sector (0x0FDF0000)
B4 D4 CE E2 D4 95 E6 2B A5 A7 1E 05 B5 F7 E7 FE
14 CA F0 46 D6 EB 36 11 E7 2A 11 11 34 FE 09 71
```

Point

リカバリー領域を残して抹消を行う場合は、ログを保存できません。



リカバリー領域を残して抹消

メーカー製のコンピュータには、メーカー出荷時の状態に戻すための領域がハードディスク中に作られており、HD 革命 / Eraser ではこの領域をリカバリー領域と表記しています。

ファイルシステムが FAT16、FAT32、NTFS、exFAT でないパーティションは、すべてリカバリー領域であると判定するため、環境によってはリカバリー領域でない領域も抹消されずに残ることがあります。

なお、FAT16、FAT32、NTFS、exFAT であっても、ドライブ文字がついていないパーティションは抹消されません。

ただし、リカバリー領域であっても、その領域が FAT16、FAT32、NTFS、exFAT であり、Windows 上で中のファイルが見える場合は「**5** リカバリー領域の抹消設定」画面は表示されずに抹消が行われてしまいます。お使いのコンピュータの仕様をよく確認してから実行してください。



Windows PE 版のすすめ

Windows がインストールされているハードディスクは、Windows が常にドライブに書き込みや読み込みを行っているため、そのままでは抹消できません。そのため、2-10 ~ 2-11 ページの操作で再起動後に抹消を行います。

しかし、CD から起動して Windows PE 版で抹消を行う場合、ハードディスクの Windows は動作していないため、Windows がインストールされたパーティションを選択して抹消できます。パーティションやリカバリー領域の位置を確認しながらパーティションを選択できますので、Windows PE 版が使用できるのであれば、そちらの方法をおすすめします。

第 3 章

CD で起動して抹消



コンピュータを、製品 CD から起動する方法（BIOS 版で抹消）と Windows PE 起動用ディスクから起動する方法（Windows PE 版）があります。ここでは、それぞれの抹消手順について説明しています。

BIOS 版で抹消

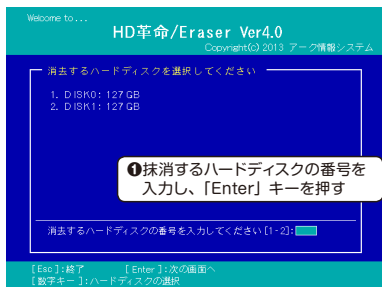
HD 革命 /Eraser の製品 CD で BIOS 版 (旧バージョンの抹消方式) を起動し、抹消を行うことができます。BIOS 版は前バージョンから機能の更新はありませんので、Ver.4.0 の製品が搭載されています。メモリーが不足して Windows PE 版が使用できない場合は、BIOS 版を使用して抹消を行うことができます。

1 コンピューターを起動

1-5 ページの **1** ~ **2** の手順で BIOS 版を起動します。

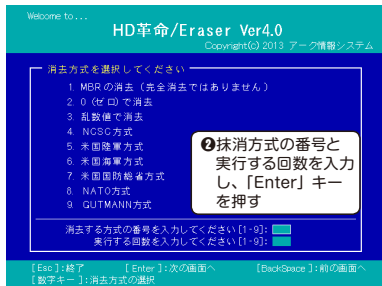
2 ハードディスクの選択

抹消するハードディスクの番号を入力します。



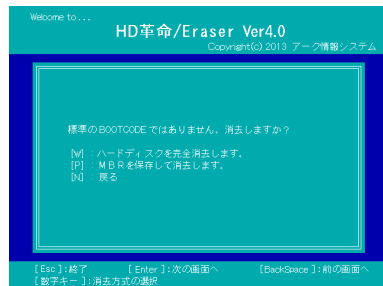
3 抹消方式の選択

抹消方式の番号と実行する回数を入力します。



4 抹消の確認

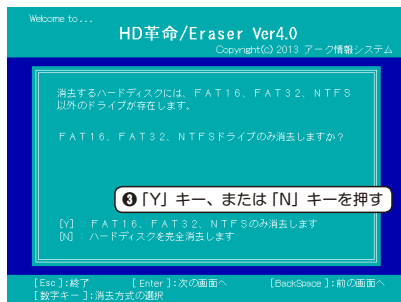
Windows の標準ではないブートコードの場合は、次の画面が表示されます。標準ではないブートコードには、コンピューターのリカバリーを行うためのコードが記されていることがありますので、後述のリカバリー領域の抹消設定でリカバリー領域を残す場合は、「P」キーを選択してください。「W」キーを押すと、ブートコードを含め完全に抹消されます。



5 リカバリー領域の抹消設定

抹消するハードディスクにリカバリー領域 (次ページのコラム参照) がある場合は、この領域を抹消するかを選択します。リカバリー領域を残して FAT16、FAT32、NTFS、exFAT のドライブのみ抹消する場合は「Y」キーを、リカバリー領域も含めてハードディスク全体を抹消する場合は「N」キーを押します。

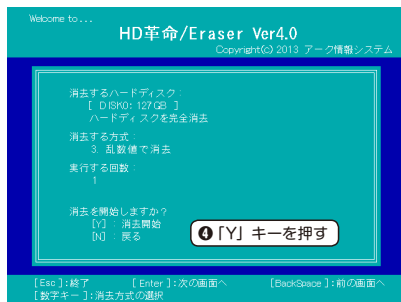
なお、Windows 8.1/8/7 で「システムで予約済み」領域がある場合にも選択メッセージが表示されます。



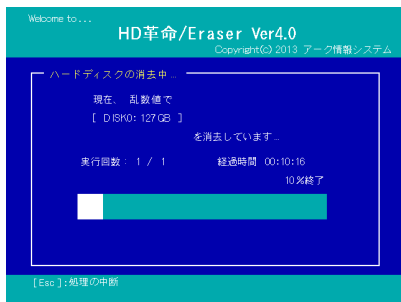
- !**
- リカバリー領域を削除するとメーカー出荷時の状態に戻ることができなくなります。メーカー保証を受けられなくなる場合もあるので注意が必要です。また、メーカーによっては、システムドライブ（通常はCドライブ）にリカバリーを行うためのプログラムが組み込まれているので、Cドライブを抹消してしまうとリカバリーができなくなることがあります。リカバリー用ディスクを作成する機能がある場合は、あらかじめ作成してから抹消を行うようにしてください。

6 抹消の開始・進行

抹消内容を確認し、「Y」キーを押します。

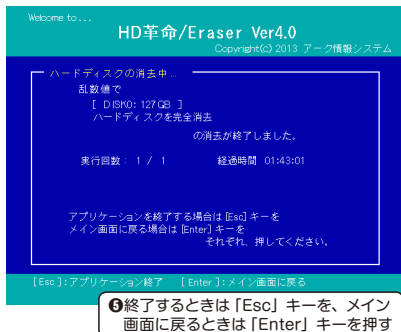


「ESC」キーを押すとHD革命/EraserのBIOS版が終了します。

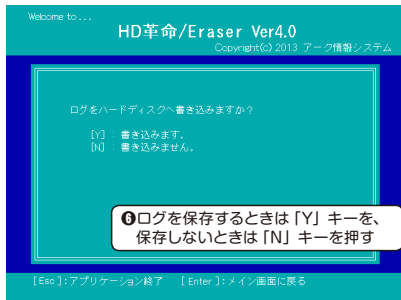


7 抹消の終了処理

抹消が終了すると結果が表示されます。



ログの保存のための画面が開きます。



「ESC」キーを押すとHD 革命 /Eraser が終了します。

HD革命 / Eraserを終了しました。
起動したメディアを取り出した後、
コンピュータの電源をお切りください。

8 抹消結果の表示

ログを保存した場合、コンピュータを再起動すると下の画面が表示されます。

```
HD Kakunei / Eraser V4.0
-- Erase Report -->>
Disk Size (MB) : 1624
Total Sector : FE00000
Erase Method : MBR
Target : Whole 1 disk
Write Times : 1
Start Date/Time : 05/22/2013 18:30
End Date/Time : 05/22/2013 18:30
Error :

Disk Snap Shot :
Sector (0x10003)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

Sector (0x7F00000)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00

Sector (0xFDFFFFFF)
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00
<<< Erase Report ---
```



リカバリー領域を残して抹消 (BIOS 版)

BIOS 版も「起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消」(2-12 ページのコラム)と同じように、リカバリー領域を残して抹消を行うことができます。ただし、一部動作が異なりますので注意が必要です。

BIOS 版では、ファイルシステムが FAT16、FAT32、NTFS、exFAT でないパーティションをリカバリー領域と判定します。

Windows 版では FAT16、FAT32、NTFS、exFAT でドライブ文字がついていないパーティションは抹消されませんが、BIOS 版ではドライブ文字がついていないパーティションも抹消されます。GPT ディスクの場合は、「回復パーティション」、「EFI システムパーティション」と「MSR (Microsoft システム予約パーティション)」も抹消されます。

抹消方式については、Windows 上と同じとなります。

Windows PE 版で抹消

Windows PE 起動用ディスクの作成 (4-2 ページ) で作成した CD でコンピューターを起動し、抹消を行うことができます。

この場合の基本的な操作は、HD 革命 /Eraser をインストールして使用するときと同様です。

1 コンピューターを起動

1-5 ページの 1 ~ 2 の手順で Windows PE を起動します。

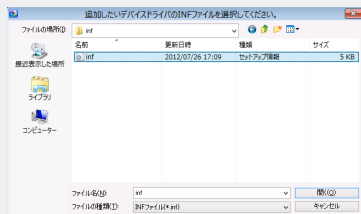
2 ドライバの追加 (必要な場合のみ)

ハードディスクを認識するために RAID や SATA などのドライバが必要な場合、ドライバをインストールします (下のコラム参照)。



ドライバのインストール

CD で起動後の Ark ランチャーで、「便利ツール」→「デバイスドライバのインストール」を選択し、表示された画面でハードディスクの認識に必要な RAID や SATA などのドライバを追加できます。ドライバ情報ファイル (inf ファイル) を選択してください。ハードディスクが認識できる場合はこの操作は不要です。ドライバは通常ハードウェアに添付されていますが、ハードウェアメーカーの Web サイトからダウンロードが必要な場合もありますので、詳しくは該当の Web サイトをご覧ください。ハードウェアメーカーにお問い合わせください。



3 「完全抹消」を選択

Ark ランチャーで「完全抹消」を選択します。

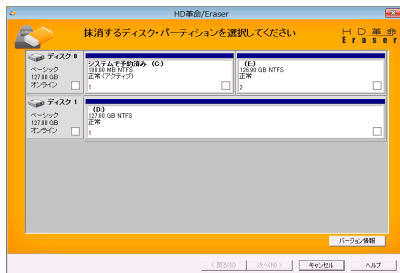


Point

CD から起動した場合、「パソコンの完全抹消」メニューは表示されません。

4 ディスクの抹消

以降のディスクの抹消操作は、インストールした HD 革命 /Eraser の操作と同様です。2-6 ページ以降をご覧ください。



第 4 章

便利ツール



ここでは、HD 革命 /Eraser を、より有効に利用していただくための便利ツールについて説明しています。

Windows PE 起動用ディスクの作成

Ark ランチャー、またはセットアップメニューから、Windows PE でファイルの復元操作を行うための起動用ディスクを作成することができます。作成される Windows PE 起動用ディスクに含まれる Windows PE のバージョンは、Windows 8.1/8 の場合は 4.0、Windows 7 では 3.0、Windows Vista/XP では 2.0 となります。

Secure Boot (セキュアブート) が有効な環境では、Windows 8.1/8 64bit 版上で起動した HD 革命 /Eraser により作成した Windows PE4.0 の起動用ディスクでなければ起動できません。Windows PE 起動用ディスクを作成する Windows と使用する環境に注意してください。

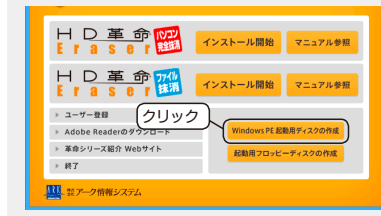
1 「Windows PE 起動用ディスクの作成」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「Windows PE 起動用ディスクの作成」を選択します。



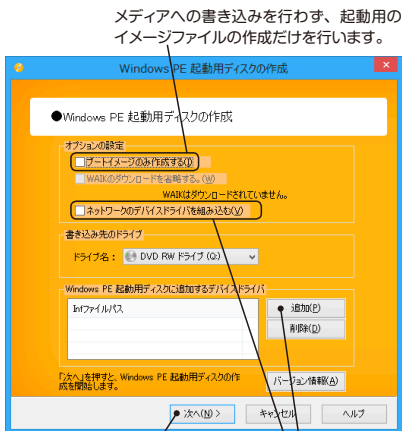
Point

Windows PE 起動用ディスクは製品 CD のセットアップメニューからも作成できます。



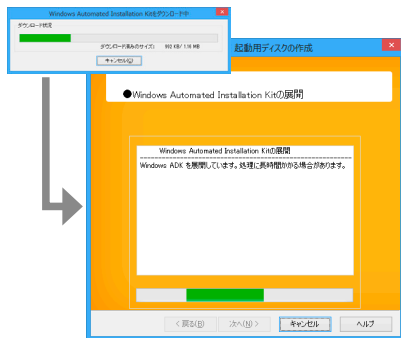
2 オプションの選択

必要に応じてオプションを選択します。初回の起動時はファイルのダウンロードが必要ですが、ダウンロード済みの場合は 2 回目以降省略できます。ブランクメディアを挿入し、「次へ」をクリックします。

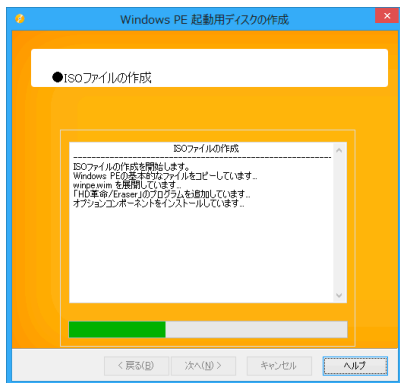


ネットワークや Intel RST、USB3.0 などのドライバを Windows PE に組み込むことができます。

展開に必要なファイルのダウンロードが始まり、ダウンロード後にファイルが展開されます。この処理は時間がかかる場合があります（環境により異なりますが 30 分～2 時間程度の時間がかかります）。



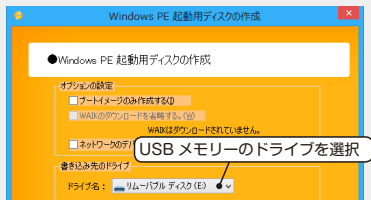
ファイルの展開が終わると ISO ファイルの生成が開始します。



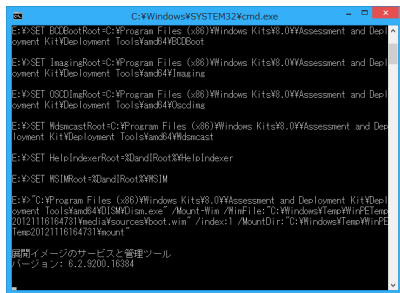
起動用 USB メモリーの作成

「Windows PE 起動用ディスクの作成」機能では、CD/DVD メディアの他に USB メモリーなどのリムーバブルディスクも指定できます。ここで作成した USB メモリーは、CD/DVD メディアと同様に Windows PE が搭載された起動用 USB メモリーとして、ファイルの復元操作を行うことができるようになります。

起動用 USB メモリーを作成する場合は、下のオプション画面のドライブ名欄で、USB メモリーのドライブを選択してください。



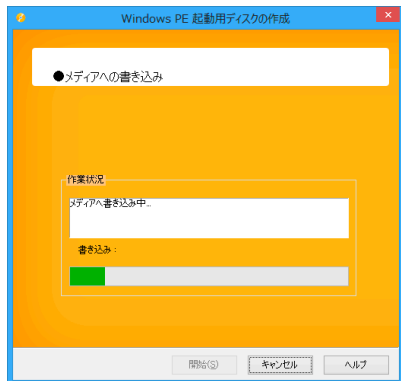
作成中はコマンドプロンプトの画面が開き、処理が行われます。



- 起動用 USB メモリー作成時は USB メモリー内のデータが削除されます。元に戻すことはできませんので、必要なデータが残っていないことを確認してから作成を開始してください。

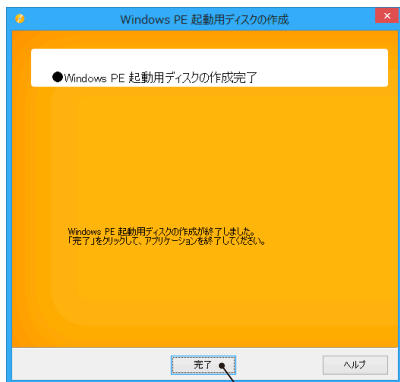
5 メディアへの書き込み

メディアへの書き込みが自動的に開始します。



6 「Windows PE 起動用ディスクの作成」の終了

メディアへの書き込みが終わると次の画面が表示され、メディアがイジェクトされます。「完了」をクリックして終了します。



①クリック

起動用フロッピーディスクの作成

Ark ランチャー、またはセットアップメニューからディスク、メディアを抹消するための起動用フロッピーディスク（FD）を作成できます。起動用フロッピーディスク（FD）で起動した場合は、BIOS 版の機能が使用できます。

1 「起動用フロッピーディスクの作成」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「起動用フロッピーディスクの作成」を選択します。



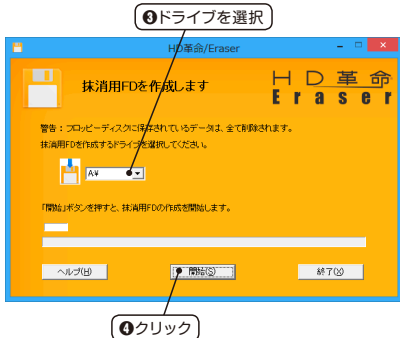
Point

起動用フロッピーディスクは製品 CD のセットアップメニューからも作成できます。



2 ドライブの選択

フロッピーディスクを挿入したドライブを選択します。

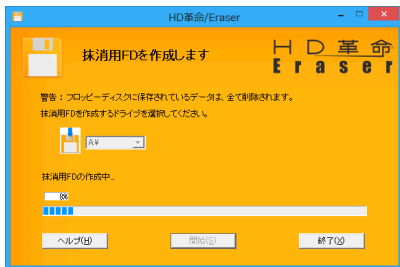


Point

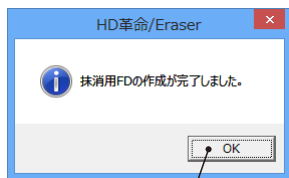
フロッピーディスク中のデータは削除されます。元に戻すことはできませんので、必要なデータが残っていないか確認してから作成を開始してください。

3 作成開始

起動用フロッピーディスクの作成が始まります。



作成が完了するとメッセージが表示されます。



⑥クリック



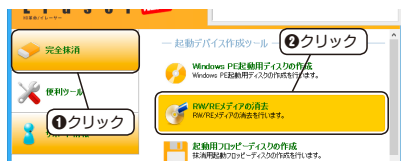
⑥クリック

CD/DVD/BD メディアの消去

起動 CD の作成時に CD-RW、DVD±RW、BD-RE メディアを使用することができますが、使用する前にメディアの消去を行う必要があります（CD-R、DVD±R、BD-R メディアの場合は消去の必要はありません）。

1 「RW/RE メディアの消去」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「RW/RE メディアの消去」を選択します。

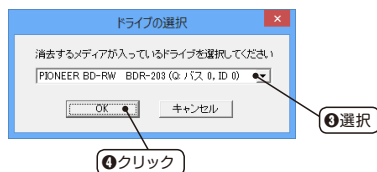


2 メディアを挿入

消去するメディアをドライブに挿入します。

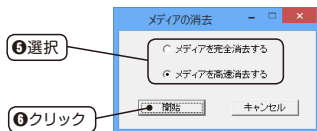
3 ドライブを選択

消去するメディアを挿入したドライブを選択します。



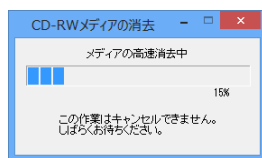
4 消去方法を選択

消去方法を選択します。



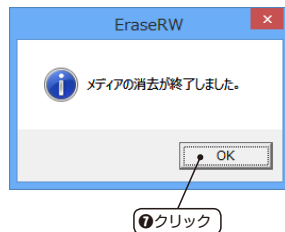
5 消去の実行

消去中は進行状況が表示されます。完全消去の場合は完了までに時間がかかります。



6 消去の終了

消去終了後、次のメッセージが表示されます。「OK」をクリックするとメディアがイジェクトされます。



Point

RW/RE メディアの消去方法

- ・メディアを完全消去する…メディア全体を完全に消去します。メディア全体を消去するため時間がかかります。
- ・メディアを高速消去する…メディアのトラック情報を消去することにより高速に消去します

抹消ログの取得

「起動中の Windows ごとハードディスクを完全抹消」(2-10 ページ)、「BIOS 版で抹消」(3-2 ページ)で、ハードディスクのマスターブートレコードに記録したログを確認することができます。

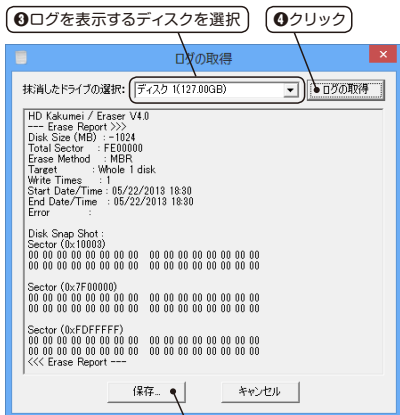
1 「抹消ログの取得」を選択

Ark ランチャーで「抹消ログの取得」を選択します。



2 抹消ログの取得と保存

「ログの取得」をクリックしログを表示します。テキストファイルで保存することもできます。



5 ログをテキストファイルとして書き出すときにクリック

ネットワークドライブの割り当て (CD から起動した場合)

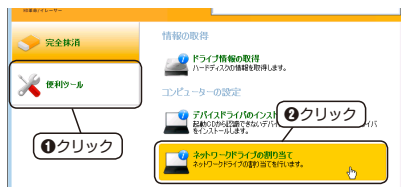
Windows PE 起動用ディスクで起動して抹消を行った場合に、ネットワークドライブにログを保存することができます。ログをネットワークドライブに保存するためには、「ネットワークドライブの割り当て」が必要です。Windows 上での「ネットワークドライブの割り当て」と異なり、抹消の実行前に毎回行う必要があります。また、DHCP サーバーがないネットワークの場合、「ネットワークの詳細設定」によって固定 IP アドレスを設定することができます。

1 コンピューターの起動

1-5 ページの手順でコンピューターを起動します。

2 「ネットワークドライブの割り当て」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ネットワークドライブの割り当て」を選択します。

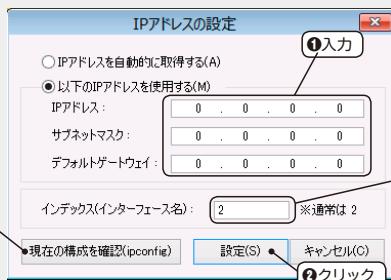


IP アドレスの設定

DHCP サーバーが存在しないネットワーク環境で固定 IP アドレスを割り当てる必要がある場合、Ark ランチャーで「便利ツール」→「IP アドレスの設定」を選択し、任意の IP アドレスを割り当てることができます。

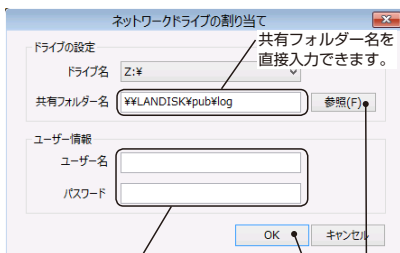
「IP アドレスの設定」画面で、ネットワーク環境に応じた IP アドレスを入力します。

「ipconfig」コマンドを実行した結果が表示されます。



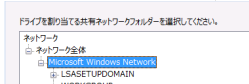
3 共有フォルダーを選択

共有フォルダー名に直接ネットワークパスを入力するか、「参照」をクリックして共有フォルダーを指定します。



ネットワークドライブにログオンパスワードが必要な場合は、ユーザー名とパスワードを入力します。

共有するフォルダーをツリーの中から選択し、「OK」をクリックします。



ネットワークデバイスが複数接続されているようなとき、「2」では正しく設定できない場合があります。その場合は、3、4、5...と変更してみてください。

ドライブ情報の取得

コンピューターに接続されているハードディスクドライブの情報を取得し、表示することができます。

1 「ドライブ情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「ドライブ情報の取得」を選択します。



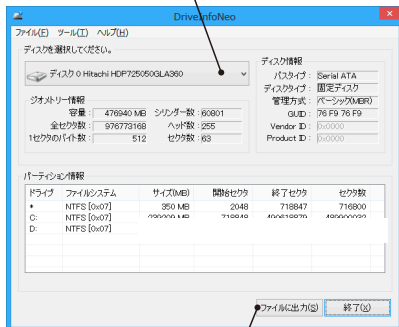
①クリック

②クリック

2 ドライブ情報の取得

情報を表示したいドライブを選択します。

③情報を表示させたいディスクを選択



ドライブ情報を HTML ファイルに
書き出すときにクリック

Point

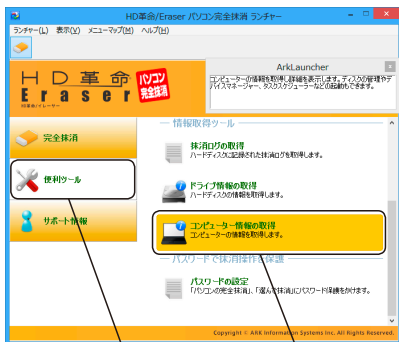
「ツール」メニューを開き、Windows の起動にかかわる情報 (GUID、MBR) を操作することができます。Windows の状態に問題がないときは使用しないでください。

コンピューター情報の取得

コンピューターに関する情報を取得し、表示することができます。

1 「コンピューター情報の取得」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「コンピューター情報の取得」を選択します。



①クリック

②クリック

2 コンピューター情報の取得

①各タブをクリックして、コンピューターの情報やインストールされているアプリケーションなどの情報を表示

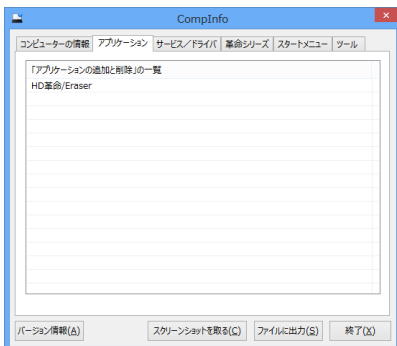


①表示中のウィンドウのスクリーンショットをとるときにクリック

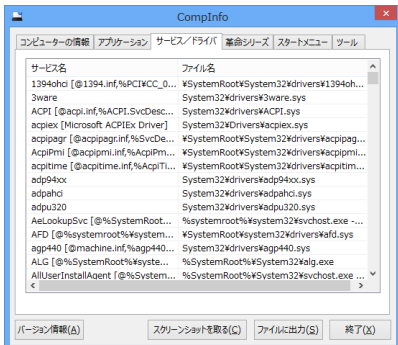
②コンピューター情報をテキストファイルとして書き出すときクリック



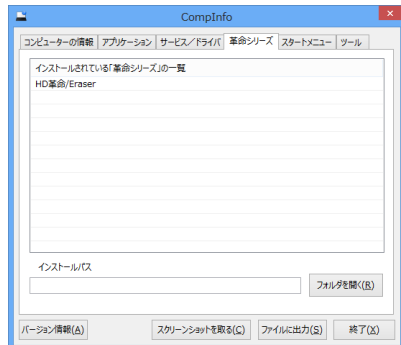
「コンピューターの情報」タブ



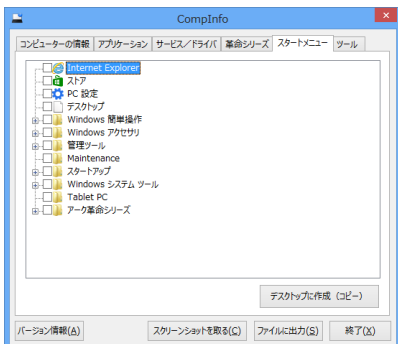
「アプリケーション」タブ



「サービス/ドライバ」タブ



「革命シリーズ」タブ



「スタートメニュー」タブ



「ツール」タブ

Point

「スタートメニュー」タブでチェックしたメニューを Windows のデスクトップに作成することができます。「ツール」タブで「ディスクの管理」「タスクスケジューラ」ほかの Windows の機能を呼び出すことができます。

パスワードの設定

パスワードを設定することで、HD 革命 /Eraser の抹消機能の起動を制限できます。

1 「パスワードの設定」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「パスワードの設定」を選択します。

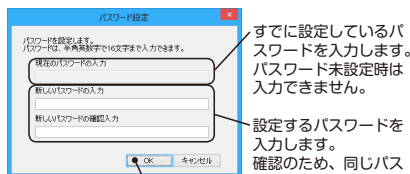


①クリック

②クリック

2 パスワードの入力

パスワードを入力します。



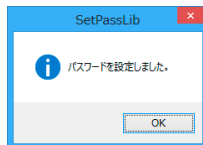
③クリック

すでに設定しているパスワードを入力します。パスワード未設定時は入力できません。

設定するパスワードを入力します。確認のため、同じパスワードを確認欄にも入力します。

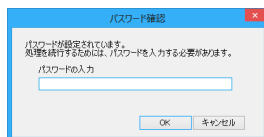
3 パスワードの設定完了

パスワードの設定が完了すると、メッセージが表示されます。



4 抹消機能を起動

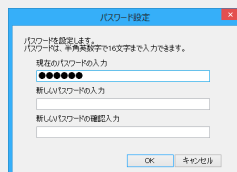
パスワードが設定されている場合は、Ark ランチャーで「パソコンの完全抹消」、「選んで抹消」を選択したときにパスワードの確認画面が表示されます。この画面で設定したパスワードを入力することで、抹消機能を起動できます。



Point

パスワードの削除

パスワードを削除する場合は、パスワードの設定画面で「現在のパスワードの入力」欄に現在のパスワードを入力し、「新しいパスワードの入力」、「新しいパスワードの確認入力」は空欄のまま「OK」をクリックします。



- パスワードを忘れてしまうとHD 革命 /Eraser の「パソコンの完全抹消」、「選んで抹消」の各抹消機能が起動できなくなりますので、パスワードの取り扱いに注意してください。

アップデータの確認

アーク情報システムの Web サイトに接続し、アップデータの有無を確認します。アップデータのダウンロードを行うには、製品の登録が必要となります。

1 「アップデータの確認」を選択

Ark ランチャーで「便利ツール」→「アップデータの確認」を選択します。

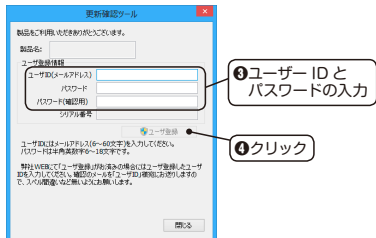


2 製品の登録確認

アーク情報システムの Web サイトにて既にユーザー登録を行われている場合は、登録したユーザー ID（メールアドレス）とパスワードを入力し、「ユーザー登録」をクリックします。

ユーザー登録を行われていない場合は、この画面より仮登録を行うことができます。仮登録を行うことで、アップデータをダウンロードとインストールを行うことができます。

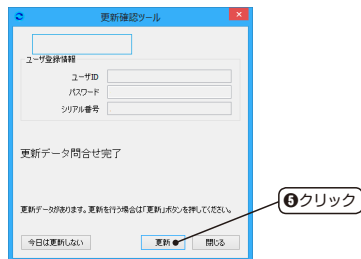
ユーザー登録を行うユーザー ID（メールアドレス）、パスワードを入力し、「ユーザー登録」をクリックします。



「更新確認ツール」にて製品の仮登録をする場合、登録される情報は、ユーザー ID（メールアドレス）、パスワード、シリアルナンバーのみとなります。サポートへのお問い合わせや優待販売で製品をご購入いただく場合は、正式なユーザー登録が必要となりますので、アーク情報システムの Web サイトでその他の項目の登録をお願いいたします。

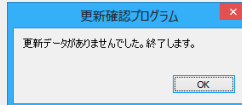
3 更新の確認

ユーザー登録の確認、または仮登録が完了すると、次の画面が表示されますので、「更新」をクリックします。アップデータが存在する場合は、ダウンロードしてアップデートを実行します。



Point

アップデータが存在しない場合は、「更新データがありませんでした。」とメッセージが表示され、「OK」をクリックすると更新の確認ツールを終了します。



第5章

参考資料



ここには、HD 革命 /Eraser をお使いいただく上で、参考にしていただくための資料がまとめられています。

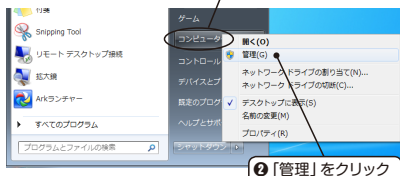
ディスクの初期化とパーティションの作成 (Windows 8.1/8/7/Vista)

1 ディスクの初期化

初期化したいハードディスクを接続し、Windows 8.1/8/7/Vista を起動します。

● Windows 7/Vista の場合

①「スタート」をクリックし、「コンピューター」を右クリック

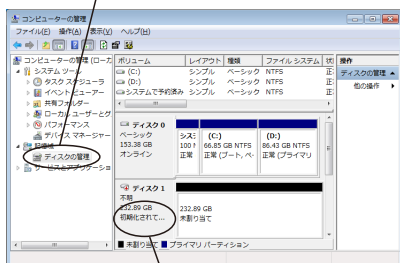


● Windows 8.1/8 の場合



①画面左下にマウスポインタを移動し、「スタート」が表示されたらマウスを右クリック (左ではありません)

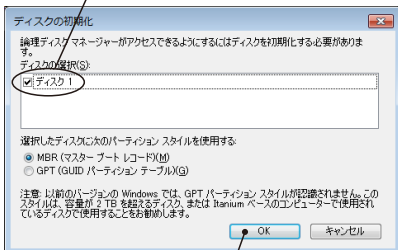
③「ディスクの管理」をクリック



⑤表示されたメニューで「ディスクの初期化」をクリック

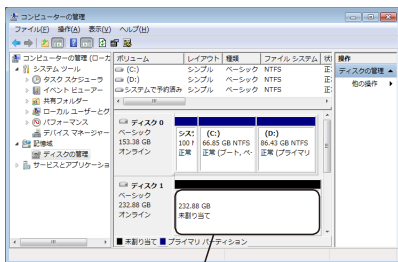


⑥ディスクを選択

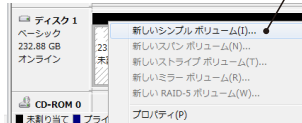


2 パーティションの作成

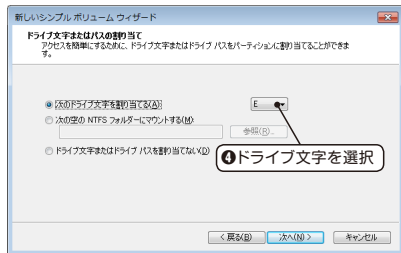
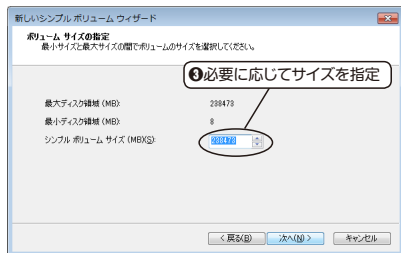
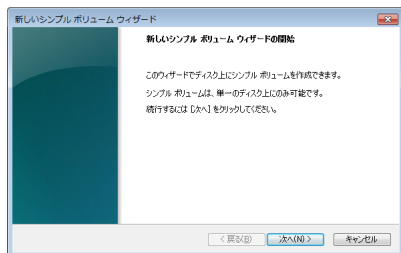
初期化に続いて、「ディスクの管理」からパーティションを作成することができます。



②「新しいシンプルボリューム」をクリック

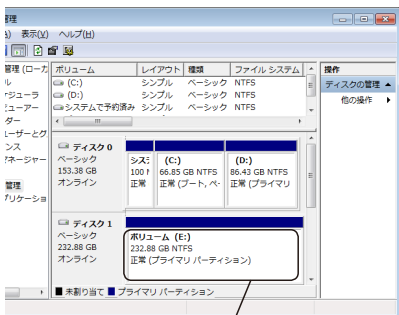
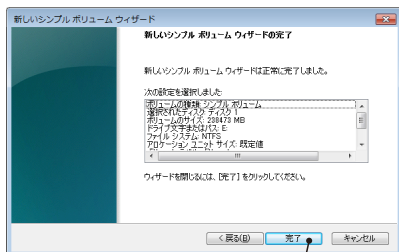


「新しいシンプル ボリューム ウィザード」が起動します。

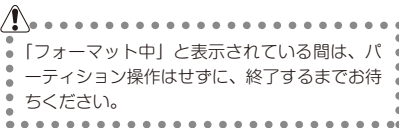


Point

サイズが 32GB 以上のときは「FAT32」は選択できません。
「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。



作成されたパーティション

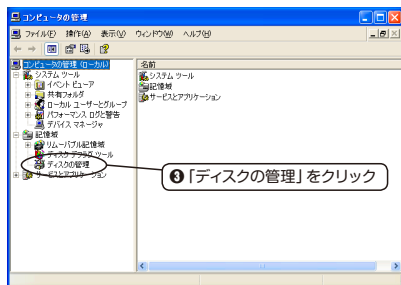


ディスクの初期化とパーティションの作成 (Windows XP)

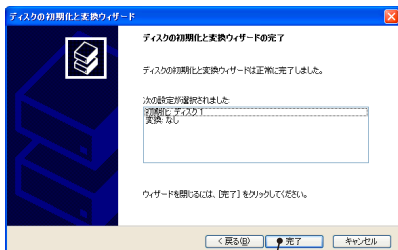
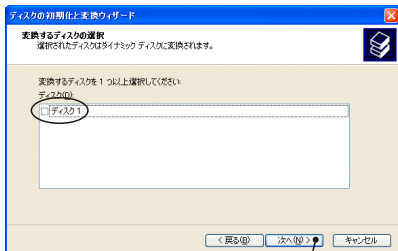
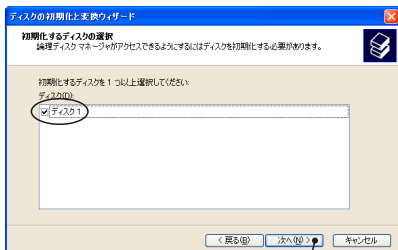
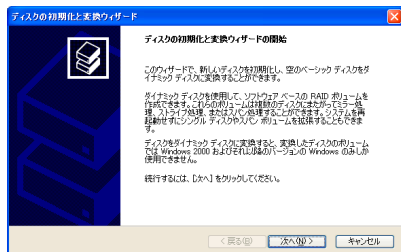
1 ディスクの初期化

初期化したいハードディスクを接続し、Windows XP を起動します。

①「スタート」をクリックし、「マイ コンピューター」を右クリック



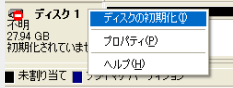
ハードディスクが初期化されていない場合、「ディスクの管理」を表示すると、次の「ディスクの初期化と変換ウィザード」が開始します。



Point

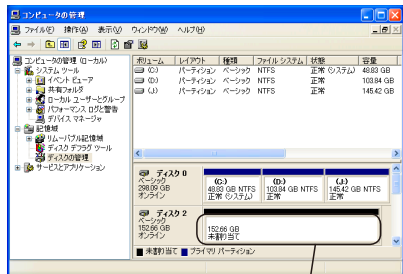
「ディスクの初期化と変換」ウィザードが表示されないとき、「初期化されていません」と表示されている部分を右クリックします。

表示されたメニューで「ディスクの初期化」を選択するとウィザードが開始します。

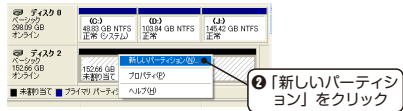


2 パーティションの作成

初期化に続いて、「ディスクの管理」からパーティションを作成することができます。

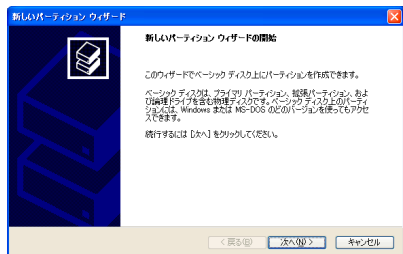


①「未割り当て」を右クリック

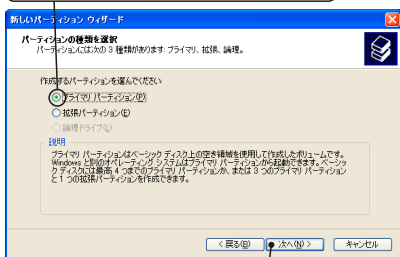


②「新しいパーティション」をクリック

「新しいパーティション ウィザード」が起動します。

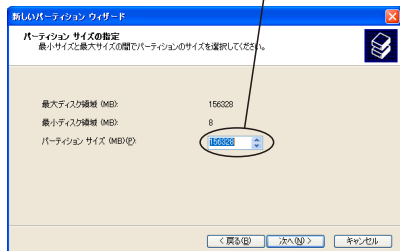


③通常は「プライマリパーティション」を選択

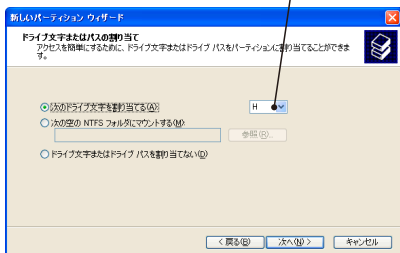


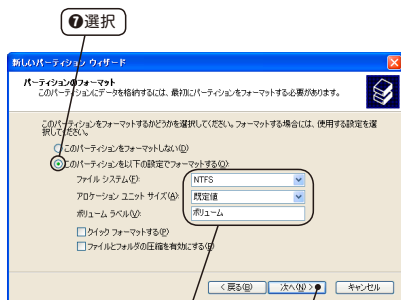
④クリック

⑤必要に応じてサイズ指定



⑥ドライブ文字を選択





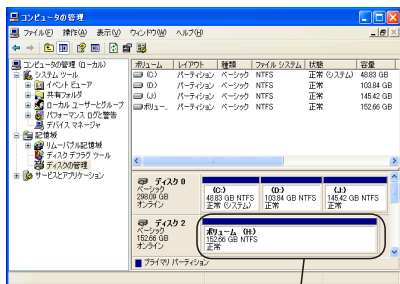
① 通常は「NTFS」「既定値」のままにして、ボリュームラベルを入力

② 「次へ」をクリックするとパーティション作成開始

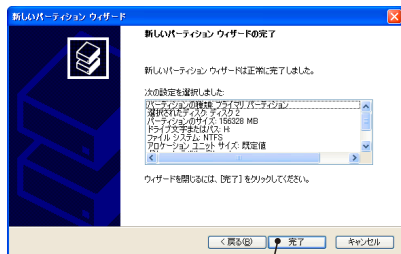
Point

サイズが 32GB 以上のときはファイルシステム「FAT32」は選択できません。「クイックフォーマットする」にチェックを入れると、フォーマット時間を短縮できます。

「フォーマット中」と表示されている間は、パーティション操作はせずに、終了するまでお待ちください。



作成されたパーティション



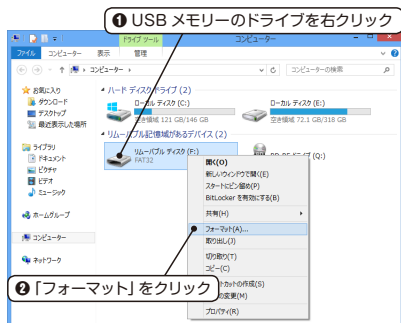
③ 「完了」をクリックしてパーティション作成終了

USB メモリーのフォーマット

HD 革命 / Eraser で抹消した USB メモリーを別の用途で使用する場合は、使用前にフォーマットを行ってください。

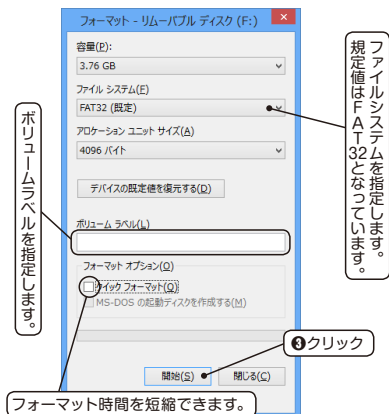
1 USB メモリーの選択

コンピュータ (マイ コンピュータ) で USB メモリーのドライブを右クリックします。



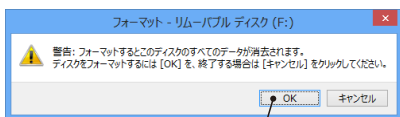
2 オプションの選択

オプションを指定して「開始」をクリックします。

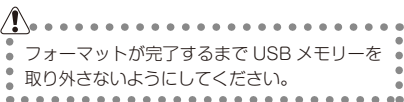
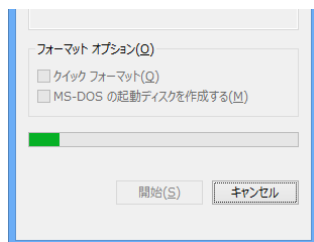


3 USB メモリーのフォーマット

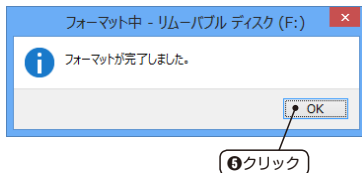
フォーマット開始前に確認メッセージが表示されます。



フォーマット中は進行状況が表示されます。



「OK」をクリックして、フォーマットが完了です。



付 録



主に、ユーザーサポートに関連する情報を掲載しています。

用語の解説

ATAPI

IDE に CD/DVD など、ハードディスク以外の機器を接続するための規格。これにより、ハードディスクと同じように接続することが可能となっている。CD/DVD ドライブは、ATAPI 接続と呼ばれることが多い。

BIOS (Basic Input Output System)

バイオスと読み、コンピュータの電源を入れると一番最初に読み込まれるデバイスをコントロールするプログラム。OS は BIOS に命令を出しハードディスクなどのデバイスを制御する。

exFAT (Extended File Allocation Table)

主に USB メモリーなどのフラッシュメモリー向けのファイルシステムで、FAT32 の短所を補った拡張ファイルシステムとなっている。理論上の最大ボリュームサイズは 64ZB (ゼタバイト)。

FAT (File Allocation Table)

MS-DOS、Windows で使用されるファイルシステム。ファイルの保存情報が記録されている。FAT16 は最大 2GB までしか扱うことができない。FAT32 は最大 2TB (テラバイト) まで扱うことができるが、Windows では 32GB までしか作成できない。

GPT ディスク

ディスクの管理方式の 1 つで、「GUID パーティションテーブル」の頭文字をとって「GPT」と呼ぶ。最大 18EB (エクサバイト) までボリュームを作成でき、1 台のディスクに最大 128 個のパーティションを作成できる。従来のディスクは MBR (マスターブートレコード) ディスクと呼ぶ。

GUID

ディスクやパーティションを区別するために用いられる一意な識別子のこと。

HPA (Hidden Protected Area)

PARTIES と呼ばれる BIOS (ファームウェア) で保護された領域で、Windows のディスクの管理でも

この領域を参照することができない。IBM 製のコンピュータはこの領域にリカバリ用のデータが保存されている。

IDE

ハードディスクや CD/DVD を接続するための規格の一つ。1 本の IDE ケーブルで、マスター、スレーブとして 2 台の機器を接続することができる。拡張規格として ATA がある。

IEEE1394

高速なデータ転送が可能なシリアルインターフェース規格。PC だけでなく、デジタル機器に広く普及している。「FireWire」や「i.LINK」とも呼ばれる。

MS-DOS (Microsoft Disk Operating System)

Microsoft 社が開発したディスクオペレーティングシステム。DOS と省略されることがある。

NTFS (New Technology File System)

Windows NT から導入されたファイルシステム。セキュリティや信頼性において、FAT よりも優れている。

OS (Operating System)

コンピュータを動かすための基本ソフトウェア。ハードウェアの管理を行ったり動作させるためのインターフェースを提供する。

PC/AT 互換機

IBM 社が開発した PC を元に、他社が開発した同等の PC のこと。AT 互換機、PC 互換機、DOS/V 機と呼ばれることもある。現在広く普及している PC のうち、Macintosh 以外のほとんどは、PC/AT 互換機。

S.M.A.R.T.

Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology の略で、ハードディスクの障害の発見や故障の発生を予測するために、ハードディスクに搭載されている自己診断機能のこと。

S.M.A.R.T. の機能によって取得できる各属性値 (読

み込みエラーの発生率、スループットの値、温度など）と、あらかじめそのハードディスクで設定されている「しきい値」とを比較することで、故障の発生を予測したり、劣化の状態を知ることができる。

現在製造されているハードディスクのほとんどに搭載されているが、古いハードディスクなど、S.M.A.R.T. の機能が搭載されていないものもある。

SSD (Solid State Drive)

記憶媒体としてフラッシュメモリーを用いたドライブ。省電力、耐衝撃性の面からノート型コンピュータに適している。SLC (Single Level Cell) と、MLC (Multi Level Cell) の 2 種類がある。MLC は SLC に比べ低価格であるが、速度や信頼性の面で SLC に劣っている。書き換え可能回数は、SLC は 10 万回、MLC は 1 万回程度とされている。

UEFI (Unified Extensible Firmware Interface)

BIOS に代わる新しいハードウェアを制御するプログラムのこと。BIOS で存在した起動ドライブの容量制限がなくなり、2.2TB を超えるパーティションからも起動できる。また、操作画面はグラフィカルになりマウスでの操作も可能となった。

USB (Universal Serial Bus)

キーボード、マウス、ハードディスクなどのさまざまな周辺機器を接続することができるインターフェースで、コンピュータの電源を入れたまま、機器の接続、取り外しが可能。

USB1.1、2.0、3.0 の規格がある。上位の規格は下位との互換性を持ち、最大転送速度がより高速になっている。

USB ルートハブ

USB コントローラーチップ内部には一種のハブが存在し、USB の根本にあたるハブのため USB ルートハブと呼ばれる。デバイスマネージャで USB コントローラーを見ると、いくつかの USB ルートハブが表示されていることが確認できる。

一般的に、コンピュータ本体にある USB コネクタ (USB ポートともいう) は通常ルートハブである。しかし、最近のコンピュータでは USB コネクタが複数あり、その中のいくつかのコネクタは、USB ルートハブから分岐したコネクタ (内蔵ハブによるコネクタ)

の場合がある。キーボードやモニターにある USB コネクタも、内蔵ハブにより増設されたコネクタであることが多い。

Windows PE (Windows Preinstallation Environment)

通常の Windows から機能を省き、最小限のサービスを利用できるコンパクトなオペレーティングシステム。CD/DVD などから起動でき、Windows のインストールや、起動できなくなった Windows のトラブルシューティングや回復に利用される。

空き領域

パーティション中の使用されていない (ファイル・フォルダーが存在しない) 部分のこと。

アクティブパーティション

OS を起動するように指定されているパーティション。

拡張子

ファイルの種類を区別するために、ファイル名の後に「.」を挟んでつけられる文字列のこと (例: .ISO .TXT)。

拡張領域と論理ドライブ

ハードディスクを分割したときの、基本ドライブ以外の領域を拡張領域という。この拡張区画の中に 1 個または複数の論理ドライブがつけられ、論理ドライブの 1 つ 1 つに D、E、F … とドライブ文字が割り当てられて使われることになる。

拡張領域のことを拡張パーティションと呼ぶこともある。

仮想ドライブ

実際には接続されていないが、Windows 上で本物のドライブと同じように認識されるドライブのこと。

起動コード (ブートコード)

コンピュータやシステムを起動するために最初に読み込まれるプログラムのこと。

基本ドライブ

コンピュータの起動用ドライブで、1 つのハードディスクに 4 つまで作成することができる。特殊な場合

を除きCドライブを指す。このドライブに Windows がインストールされる。

基本パーティション、またはプライマリパーティションと呼ぶことがある。

クラスター

ハードディスクへのデータの記録はセクター単位で行われるが、Windows では複数のセクターからなるクラスターという単位でデータが管理され、データの読み書きがクラスター単位で行われる。

コンベンショナルメモリー

MS-DOS およびアプリケーションが使用可能な 640KB のメモリー。

シリアル ATA (SATA, SerialATA)

シリアルで転送するインターフェース規格。従来の ATA 規格はパラレル転送を行っており、ケーブルの形状が異なる。ATA より高速な転送を可能としている。

ジオメトリ

ハードディスクに関する情報（トラック数、セクター数、ヘッド数など）のこと。

使用領域

パーティションの中の、使用されている（ファイル・フォルダーが存在する）部分のこと。

ダイナミックディスク

Windows 2000 以降で利用可能なディスク管理方法。ダイナミックディスクでは、「ボリューム」と呼ばれる単位でディスクの領域を管理する。ボリュームには、シンプル、スパン、ストライプ、ミラー、RAID-5 が存在するが、ミラーと RAID-5 はサーバー系 Windows のみサポートしている。

ディレクトリ

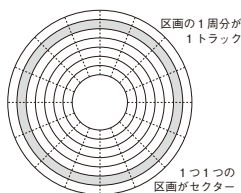
階層構造のファイル管理方式では、1つの階層をディレクトリと呼ぶ。

デバイス

コンピューターに接続する周辺機器のこと。

トラックとセクター

ハードディスクの中では、回転する磁気を帯びた円盤に対してデータの書き込み・読み出しが行われている。データが記録される区画の最小単位をセクターといい、セクターの1周分をトラックという。



パーティション

ハードディスクをいくつかの領域に分割したときの区域のこと。物理的に1つのディスクを複数のディスクのように見せることができる。

パーティションテーブル

ハードディスクに存在する各パーティションに関する開始位置やサイズの情報を記録しておくテーブル。

ファイルシステム

ファイルを管理する方式。ハードディスク上のどこにファイルが保存されているかなどの情報を記録する。ファイルの参照は、ファイルシステムの情報をもとに行われている。

フォーマット

ハードディスクやDVD-RAM、MOなどの記録メディアにデータを書き込むために一番最初に行う処理。ファイルシステムごとに決められた規則に従って行われる。

フラッシュメモリー

書き換え可能なメモリーのこと。電源を切ってもデータを保持することができる。USBメモリーやSSD、SDHCメディアカードもフラッシュメモリーを使用した記憶装置である。

ベーシックディスク

基本パーティション、拡張パーティション、論理ドラ

イブで構成される従来のディスク管理方法を「パーティションディスク」と呼ぶ。

ヘッド

データの読み込み・書き込みを行うために使われるディスクの中にある磁気ヘッドのこと。ハードディスクでは、複数のヘッドが存在する。

ヘッド数

ハードディスクのサイズや位置情報を計算する方法としてヘッド数という値を使用する。ヘッド数は、ほとんどのコンピューターでは 255 としているが、IBM などの一部のコンピューターでは 240 となっている。

ボリューム

ディスクの記憶単位で、ドライブ文字が割り当てられる。ダイナミックディスクでは、パーティションを「ボリューム」と呼ぶ。

ボリュームラベル

マイ コンピュータ画面でドライブアイコンに表示される、ディスクを識別するための名前。

マスターブートレコード

HDD の先頭領域にあるセクターのことで、MBR と略されることがある。パーティションテーブルやアクティブパーティションから起動用プログラムを読み込むためのマスターブートコードが記録されている。

マルチブート

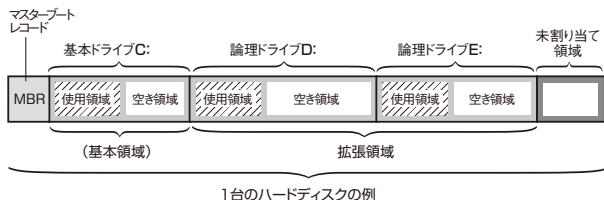
ハードディスクに複数のオペレーティングシステム (OS) をインストールして、切り替えて起動できるようにすること。

未割り当て領域

ハードディスクの中でパーティションが割り当てられていない部分のこと。空き領域ともいう。

レジストリ

ハードウェアやアプリケーションの設定情報を管理するファイル。このファイルが破損すると OS が起動しなくなることもある。



ユーザーサポートのご利用にあたって

お問い合わせになる前に

①操作方法・トラブル内容について調べる

インターネット接続が可能な場合は、FAQ（よくあるお問い合わせ）をご覧ください。操作上の注意点、トラブル内容と対処方法などが記載されています。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/support/index.html>

②アップデータをダウンロードする

最新アップデータを適用することにより、改善する場合があります。下記からダウンロードしてください。

<http://www1.ark-info-sys.co.jp/download/index.html>

③弊社サポートへ問い合わせる

上記によっても解決しないとき、またはインターネット接続ができない場合に弊社ユーザーサポートをご利用ください。

お問い合わせにあたって

- メールフォーム：https://www2.ark-info-sys.co.jp/ARK_N/MailSupport/MainGate.asp
- FAX：03-3234-9252
- TEL：03-3234-9251（祝祭日・弊社休業日を除く月～金の10～12時、13～17時）

お問い合わせいただく際、メール、FAX、電話のいずれの場合においても以下の項目が必要です。

- ① ユーザーID
- ② 製品名、バージョン、シリアルナンバー
- ③ ご使用のOS（Windows XP など）

④ エラーメッセージ全文

障害の状況により、さらに詳しい情報が必要な場合があります。エラーが発生するまでの手順を、箇条書きでお知らせください。

（例）

1. 「選んで完全抹消」で抹消方式を選択後「次へ」をクリック
2. アプリケーションエラーが発生
エラーメッセージ「*****」（正確に転記してください）

※ お客様の個人情報は、弊社情報セキュリティ方針に従い適切な保護を行います。詳しくは弊社Webサイトをご覧ください。

※ FAXの場合、「ユーザーサポート申込書」をコピーしてご記入のうえお送りください。

※ メール・FAXの場合、お問い合わせの内容により3～5営業日ほどお時間をいただく場合があります。あらかじめご了承ください。

※ 曜日や時間帯によってはお問い合わせが集中し、お電話がつながりにくくなる場合がございます。その際は、恐れ入りますが時間をずらしてお電話をいただきますようお願いいたします。



● 弊社で動作保証している環境以外（自作のコンピュータ、ショップメイドのコンピュータ、CPU オーバークロック、そのほかハードウェアの改造など）で不具合が発生するケースにおいて、パーツの相性や、デバイスドライバーがその一因となっていることがあります。

● その場合、すべてのパーツの組み合わせの相性テストは不可能であり、弊社ユーザーサポート環境にて再現性のない場合や、相性により発生していると思われる問題につきましては対応が不可能な場合もあります。ご了承ください。

● 他社製品、シェアウェアなどのパーティション操作ソフトウェア（マルチブートユーティリティなど）との共存は原則としてサポート外とさせていただきます。

この用紙をコピーして各項目にご記入の上、下記まで FAX にてお送りください。

必ずユーザー登録終了後にユーザーサポートをお申し込みください。

FAX 03-3234-9252

株式会社アーク情報システム 企画販売部 ユーザーサポート係 行

「HD革命/Eraser パソコン完全抹消」ユーザーサポート申込書

お使いの環境を、わかる範囲でご記入ください（この用紙でユーザー登録はできません）。

●弊社からお客様への連絡方法（FAX、E-Mail から指定してください。ただし、ご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。）

1. FAX 2. E-Mail

●お客様のお名前・ご連絡先・対象の製品（※ は必ずお書きください）

*お名前：

TEL： FAX：

E-Mail アドレス：

*シリアルナンバー：

アップデートの有無：有・無（Ver.）

●お使いのコンピューターについて

メーカー名：

機種名とシリアルナンバー：

メモリー（RAM）容量：

Windows の種類：Windows 8.1 / Windows 8.1 Pro（8.1 Update 更新の有無：有・無）

Windows 8 / Windows 8 Pro

Windows 7 Starter / HomePremium / Professional / Ultimate（SP ）

Windows Vista Basic / HomePremium / Business / Ultimate（SP ）

Windows XP Home / Pro（SP ）

32ビット版 / 64ビット版

接続されている周辺機器：

ボード、カードをご利用の場合

・I/F：SCSI、eSATA、RAID、USB2.0、USB3.0、IEEE1394、その他（ ）

・メーカー、型番、チップセット：

●お使いのソフトウェアについて

インストールされているアプリケーションプログラム：

●障害が生じた操作（□にチェックを入れ、内容を記入してください）

☐インストール時（☐インストール途中 ☐オートラン起動時 ☐その他）

エラーメッセージ：

.....

現象：

.....

.....

.....

.....

☐ハードディスク全体、メディアを抹消

☐パーティションを選択して抹消

☐CD から起動して抹消（BIOS 版）

☐CD から起動して抹消（Windows PE 版）

☐その他

抹消方式： 抹消回数：

エラーメッセージ：

.....

.....

現象：

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

エラーメッセージ：

現象：

エラーメッセージ：

現象：

- ・本ユーザース・マニュアルはPDF ファイルとして提供しており、Adobe Reader（Adobe 社の閲覧ソフトウェア）を使用し、オンラインマニュアルとしてご利用いただくことができます。
- ・Adobe Reader はセットアップ画面からインストールすることができます。
- ・抹消ログをPDF ファイルへ保存する機能において以下のライセンスを使用しています。
LibHaru Version 2.0.8 Copyright ©1999-2006 Takeshi Kanno
- ・Microsoft[®], Windows[®]8.1, Windows[®]8, Windows[®]7, Windows[®]Vista, Windows[®]XP, Windows PE は米国 Microsoft Corporation の、米国および他の国における登録商標または商標です。
- ・その他の会社名、商品名は、それぞれの会社の登録商標または商標です。

HD 革命 /Eraser パソコン完全抹消 ユーザース・マニュアル

2014 年 5 月 1 日 第 1 版発行

発 行 株式会社アーク情報システム

〒 102-0076 東京都千代田区五番町 4- 2 東プレビル

© 2014 Ark Information Systems

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

著作権法の範囲を超え、本書を無断で複写、複製、転載することを禁じます。